

公表 事業所における自己評価結果

事業所名			支援後等ディサービス		公表日		令和 7年 5月 30日	
チェック項目			はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	利用人数によっては狭く感じるが、動き回るスペースにはなるべく物を置かない様に配慮している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3			利用人数や児童の特性によっては少く感じる場合もあるが適切な職員体制を確保して維持できるように努めている。	
	3	生活空間は、ここにもわかりやすく誘導された環境になっているか。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	手すりやスロープの設置はされている。一通りの流れや活動の流れを視覚化し、見て動く行動出来る様にしている。掲示物の貼り過ぎには気を付けている。		机のコーナードは設置してあるが、倒がれているものもあるので設置直す。椅子などのコーナードの対応を早急に行う。見て動く行動出来る様に。1日の流れの表の上部に時計を設置し時間を意識して生活できるようにしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・清潔は通年継続として毎日行っている。 ・週2回掃除。子供達と一緒に生活継続とし、活動に理解を取り入れ清潔を保っている。		自由に動く活動の中に生活訓練を取り入れ清潔全般を行っていく。また、自分たちが使用している場所や物を、清潔にする意識を持って貰い、自ら気づき清潔が保てる様にアプローチしていく。	
	5	必要に応じて、こどもが利用の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	一人になりたいた時は、強ひに応じて個室や場所を配慮している		常に管理監督を行い意識し、いつでもどの部屋も使用できる状態を維持していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	0	毎日ミーティングを行い1日目のふりかえりや改善のための共有や当日のプログラムの確認を行っている。		週1回の職員への共有も継続を行うようにしていく。	
	7	保護者向け向け表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月結果をスタッフ間で共有し業務改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	意見を伝える機会はあるが改善できていない事もある。		日々のやりごとや意見等、個人単位で相談出来る体制を早急に変更改善に努めて行く。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4			協力会社による定期的な評価があるが、業務改善まで知られていない様。引き続き外部評価を依頼し業務改善に努めている。	
	10	職員の昇進の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	5	0	法人内で年々4組いような研修に出かけたの研修を行っている。		福祉・法律やリーダーシップ等の研修に出席する機会を増やしていく。市町村が提供する研修にも積極的に参加して行きたい。	
適切な変更の取扱い	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページへ掲載することで公表している。			
	12	何々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を定期的に分析した上で、支援後等ディサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者に対して適切なアセスメントを行ったり、支援に関わるスタッフの意見も聞きながら作成している。		何々のニーズや課題に即応して個別支援計画を作成している。	
	13	支援後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2			児童発達支援管理責任者だけでなく、スタッフ間でも意見を出し合い、共通理解の下で支援していく。	
	14	支援後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	日々の実施記録の中に個別支援計画を記載し支援できる様にしている。		支援計画の共有もしないが、しっかりと共有していく。	
	15	こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを用いたフォーマルなアセスメントを使用する等により記述しているか。	3	2	アセスメントシートにて保護者から聞き取りを行い状況の記入している。		個別月にアセスメントを実施し、より良い環境にしていきたい。	
個別支援計画の作成	16	支援後等ディサービス計画は、支援後等ディサービスガイドラインの「支援後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」の4つ及び支援内容が記載されている。こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿った全ての課題を設定し支援している。		児童によっては支援が十分な場合もあるが、何々の課題を適切に設定し支援しながら支援に努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	スタッフ間でも意見を出し合い、毎日人数・メンバーを考えたうえで立案している。		今後スタッフ間でも意見を取りあわせ立案して行ける様にしていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	その日のメンバーに合わせ、活動内容を変更したり、クッキングや折り紙や書字・体育等活動が可能なようにしている。		その日の利用児の特性に合わせてプログラムをカスタマイズ化しない様に工夫していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ支援後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	状況を見ながら個別活動を取り入れたり、小集団での活動をしたり、児童に合わせて支援しています。		何々の状況や状況を見ながらサポートしていく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	前日、申し送り事項を確認したり、思ったことなどを伝え合い連携を行っている。		申し送りもきちんと行い連携を取りチーム支援に取り組んで行く。	
個別支援計画の実施	21	支援終了時には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気づき点等を共有しているか。	5	0	例えば、その日の振り返りを行い、気づき点などを共有しているが後日になる場合もある。		出来たところの日のうちで振り返りを行っていきける様にしていく。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の記録はその日のうちに記入し、支援の改善を行っている。		今後支援記録をしっかり行い日々の支援に活かしていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、支援後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリング実施し、適性を見ながら見直しを行っている。		6ヶ月に1回のモニタリングを行っているが、必要時には不定期での実施も行っていく。	
	24	支援後等ディサービスガイドラインの「4つの基本原則」を徹底し組み合わせ支援を行っているか。	4	1	児童の意見を取り入れながら、主体性を持たせ活動に参加できるようにしている。		今後ガイドラインに沿った支援を工夫を行い、活動参加できるようにしていく。	
	25	こどもが自己決定できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択方式以外に自己決定を促す工夫をしながら支援している。		選択方式以外にも自己決定を促す工夫をしながら支援している。	
個別支援計画のモニタリング	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	4	1			児童発達支援管理責任者だけでなく、必要に応じてスタッフの参加もしている。	
	27	地域の保健、医療（注：治療や協力医療機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を築いているか。	3	2			学校との連携は行っているが、福祉機関との連携が少ないので連携を促していく。	
	28	予校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡等）、連絡網（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	予校のホームページやスクリーン等を活用し下校時の連絡ミスのない様にしている。また、下校の発生による年間行事スケジュールを速くして情報共有している。		たまに連絡網ミスがあるため連絡体制を速にシステムで下校できる様に努めていく。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有が適切に行われているか。	3	2	希望事業所や相談員を通じ会議を開催し、基本的な情報共有を行っている。		今後も、情報共有を行っていく。	
	30	予校を卒業し、支援後等ディサービスから障害児サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	2	3	現在、該当する児童はいません。		必要時には情報提供して行きたい。	
個別支援計画のモニタリング	31	地域の児童発達支援センターとの連携を取り、必要に応じてスーパーバイズや助産師や医師等と連携しているか。	2	3	児童発達支援センターとの連携が取れている。		今後は地域の児童発達支援センターとの連携を取り、研修する機会を設けられる様にしていきたい。	
	32	支援後等ディサービス計画と連携し、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	公園や公民館等で遊びはあるが、一緒に活動する事はない。		インフレーションや感染症等の影響で交流する機会が減ったため、交流する機会を作っていく。	
	33	「自立支援」協議会等へ参加しているか。	2	3	協議会への参加はないが、市町村で開かれる連絡会へ参加できている。		市町村から聞くべき情報をと積極的に参加して行きたい。	
	34	日頃からこどもの状況を把握し伝え合い、こどもの発達や課題について共通理解を築いているか。	5	0	日頃から、連絡簿やアプリや電話やメール、LINEなどで情報共有を行っています。連絡のやり取りもしっかりと行っている。		引き続き、情報共有をしつつやり取りの連携を強化して行きたい。	
	35	予校の対応力の向上を図る観点から、予校に対して支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家庭での対応できる研修の提供や情報提供等を行っているか。	4	1	年に1回開催ではあるが、「子育てサロン」を開催し保護者との勉強会を行っています。		今後も勉強会や研修を行い、保護者や児童に必要な知識が得られる様に努めていく。	
個別支援計画のモニタリング	36	連絡簿、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に利用者と説明・連絡規定についての説明を行っている。		引き続き丁寧な説明を行っています。	
	37	支援後等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の原則を踏まえて、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	5	0	計画書作成時には予校や児童の意見や意向を聞き取り丁寧に対応できるようにしている。		今後児童や予校の意向を聞き取りながら、丁寧に聞き取りを行い対応していく。	
	38	「支援後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援後等ディサービス計画の理解を得ているか。	5	0	利用計画書を作成後、説明を行い理解を得ている。		今後丁寧な説明を心がけていく。	
	39	予校等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な支援と連携を行っているか。	5	0	必要に応じて予校での相談を行った。実際に相談できるように声かけを行い安心感を持って貰っている。		低級な事でも相談し安心してもらえるように支援して行きたい。	
	40	父母の会の活動に参加することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだいへの関与や交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	3	2	子育てサロンを開催する中で保護者同士との交流の場を設けている。		保護者同士の交流の場はあるが、きょうだいの関与の機会が少ない。きょうだいの関与を促すような場を設ける様に努めていく。	
個別支援計画のモニタリング	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することにより、こどもや保護者に関与し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情に対しては担当者を中心に体制を整え、迅速かつ適切に対応している。		今後も、担当者を中心にスタッフ間で交流連携を強化して行きたい。	
	42	定期的に連絡簿等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動観察や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月1回発行している。また、ブログやHP、LINE等にて日々の様子や活動について発信している。		毎月のよりよい活動、プログラムの更新等を含めて日々の活動の様子を発信していきたい。	
	43	個人情報や取扱いに十分留意しているか。	5	0	継続して個人情報に関する研修を行っている。		事業所内に児童が入り入る事が多いため、ファイルの書き換えなどを行い個人情報保護意識を高めるようにしていく。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	言葉以外でもジェスチャー、絵カード、黒板などを用いてコミュニケーションを行っている。		何々に合わせたコミュニケーション方法で意思の疎通を図っていく。	
	45	事業所の行事や地域住民が参加する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	0	5	全く出来ていない。		今後、地域の活動や交流イベントや交流する機会を増やす様に努める。	
個別支援計画のモニタリング	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や予校等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを策定しており、訓練を実施している。		引き続き、適切な対応が出来るようにマニュアル周知を行いながら訓練の実施をしていく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出などの必要訓練を行っているか。	4	1	BCPの策定はされており、定期的な避難訓練を実施しているが救出訓練の実施ができていない。		定期的な避難訓練を実施していくと共に救助訓練の協力などの救出訓練の実施も行って行きたい。	
	48	事前に、職業や予校関係、個人関係等のあるこどもの状況を把握しているか。	3	2	契約時に予校関係を確認し、確認を行っている。		前に持っている関係等を聞き取り確認していく。また、定期的に児童に対しては必要に応じて関係性を確認していく。	
	49	食中毒アレルギーのあるこどもについて、食料の提供管理に適切に対応がされているか。	5	0	契約時にアレルギーの有無を確認し、スタッフへ周知している。おやつ時への配慮もしっかりと行っている。		定期的にアレルギーの有無を確認しながらおやつへの配慮も行って行きたい。	
	50	安全計画を作成し、安全確保に必要な知識や訓練、その必要必要な資源を確保している等、安全確保が十分に行なわれているか。	5	0	安全計画を作成しており、定期的な安全確保研修を実施している。		引き続き、安全確保を十分に行い、定期的な安全確保研修を実施していく。	
個別支援計画のモニタリング	51	こどもの安全確保に際して、予校等との連携が図られるよう、安全計画に基づく説明を行うこと、予校等へ周知しているか。	5	0	保護者説明や研修等を通じて関係性が取れるようにしているが、保護者への周知が十分の様に感じない。		安全確保に際して、保護者への周知を行うと共に、非常事態時の対応や関係機関との連携をしっかりと行っていく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	5	0	ヒヤリハットがあった際はヒヤリハット報告書を作成し、注意する箇所を共有し再発防止に努めている。		ヒヤリハットを未然に防ぐ様に注意する箇所の確認を早急に行っていく。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修会を開催する等、適切な対応をしているか。	5	0	法人全体で虐待防止についての研修会を実施している。		引き続き、法人での研修会を実施しながら、外部機関への参加も取り込んでいく。	
	54	どのような場合にやむを得ず自己廃業を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、支援後等ディサービス計画に記述しているか。	5	0	契約時に自己廃業について説明を行い、同意書を取っている。現在、該当児童はいないが、必要時には、計画書に記述していく。		現在、自己廃業の必要な知識は少ないが、万が一に備え安全確保より関係性を確保し、必要時には、計画書に記述していく。	